

市の出来事から

日米中学生交流の橋渡し役に感謝

前沢中学校が姉妹校として交流を続けている、米国カリフォルニア州ブルジャン中学校の訪問団8人が、6月20日から29日まで前沢区内の家庭にホームステイしました。滞在中は和太鼓や茶道などの日本文化を体験したほか、北上川のゴムボート下



一緒にゴムボートをこく前沢中とフルジャン中の生徒たち

りで自然にも親しみました。この交流は、平成9年度から旧前沢町が英語学習の一環として異文化交流を目的にブルジャン中への派遣を行っていたことがきっかけ。12年1月に両校が姉妹校を締結し、相互の派遣交流へと発展しました。前沢中からは、昨年度の第10回を含め計104人を派遣。ブルジャン中からの訪問は今回で7回目、総勢59人が来訪しています。

さんへの「感謝の会」が開かれました。会には歴代の派遣生や訪問団員を受け入れた家族、菅原義子教育長ら約100人が参加し、交流に尽力したスーザン先生に友情と感謝を表しました。歴代の派遣生からは「交流をきっかけに英語を専門に学ぶことになった」などの声が聞かれ、次代を担う人材育成にもつながっています。



菅原教育長から感謝の言葉を掛けられるスーザン・ゴトウさん

前沢・江刺の2人がめでたく百歳

市は、6月に満100歳を迎えたお年寄り2人に記念品（増沢塗食器セット）を贈り、長寿を祝いました。

佐藤ミエさん（前沢区字三日町新裏）は胆沢区小山の出身。夫の故圭治さんと共に綿の打ち直しや映画館などを営み、1男4女に恵まれました。孫が大きくなってからは詩吟に打ち込み、84歳で佐藤恵風の名前をもらうほです。



千葉サツキさん（江刺区田原字横懸）は、常に身だしなみに気を配り、3男3女の厳しくも優しい母親でした。若いころから大病もなく、昨年転んでからは寝たきりとなってしまいましたが、大きな文字の本を読むなど元気に過ごしています。

今月の「世界遺産登録への道」は休止します。カナダで開かれる世界遺産委員会（平泉関連遺跡は7月6日、7日に審議予定）の結果は、お知らせ版7月号に掲載します。

また今月の「まちの話」は、平成20年岩手・宮城内陸地震関連情報を掲載するため休止します。

消費生活Q&A相談

このコーナーでは、普段の生活で実際に相談があった事例から、その対処方法などを紹介します。消費生活相談は各総合支所で行っています。詳しくは広報おしゅうお知らせ版の「相談窓口」を参照してください。

幸せは30万円？
(相談者 30代女性)

週刊誌に「開運ブレスレット」の広告が載っていました。1週間身に付けて送り返せば、運勢の鑑定をしてくれるという物でした。価格も3千円と手ごろだったので、さっそく注文しました。商品を送ってから数日後、電話がかかってきました。「鑑定の結果ですが、ご先祖の霊があなたの幸せを邪魔しています。このままでは不幸になる一方です。ご祈祷すれば、ご先祖はあなたを守ってくれるでしょう」と言われました。祈祷料を聞くと、30万円と高額だったので、わたしには支払えないと断りました。しかし「このままだと、あなただけでなく家族まで不幸になりますよ。いいんですか」と強い口調で言われ、怖くなってお願いすることになりました。祈祷依頼のための書類が届きましたが、今から止めることはできないでしょうか。

今回のように、運勢の鑑定の結果に基づいて祈祷をする行為は、特定商取引法の指定役務となります。勧誘方法は電話勧誘販売に当たるので、契約書面を受け取ってから8日間以内であればクーリング・オフをすることができま。今回の事例は、相談者が事業者に対してクーリング・オフの通知を出し、解約することができました。

おまじないや開運グッズなどを楽しんでいる分には良いのですが、高額な商品を購入したり、お金を出して祈祷をしたりしなければ運勢が悪くなるなどという話には注意が必要です。迷ったらその場で契約せず、家族や友人に相談しましょう。クーリング・オフ期間を過ぎていても、販売方法に問題がある場合、解約できることもあります。あらかじめ市に相談してみましよう。(本庁市民課総合相談室)



こんちは！
市長です
奥州市長
相原正明

そうした中で、心強かったのは、東京・横浜・秋田・青森などから派遣された緊急消防援助隊、更には自衛隊が、ヘリコプターや重機を従えて大勢来着し、支援していただけたことです。自衛隊の方々には、長期間滞在応援をいただき、お風呂の提供までしていただきました。ある時、胆沢区愛宕の避難所にまいりましたら、おばあさんが1人で途方にくれていました。1人暮らしのため、散乱した家財道具を片付ける気力さえないとのこと。職員による協力を行い、わずかに期待に込めることができました。被災者の皆様の1日も早い復帰や回復を支援し、成し遂げたいと思います。

お元氣レシピ

簡単朝食メニュー④
ベーコン、ソーセージ、キャベツのポン酢煮



材料(4人分)
ベーコン.....20g
ソーセージ.....4本
キャベツ.....6枚
玉ネギ(大).....1個
卵.....4個
酒.....大さじ4
カボス(しぼり汁).....大さじ3
薄口しょうゆ.....大さじ3

作り方

- ①具材を食べやすい大きさに切る
- ②ポーチドエッグを作る。鍋に湯を沸かし、酢少々(分量外)を入れて沸騰させ、弱火にして卵を静かに割り入れる。白身が白く固まり、黄身が半熟になったら網ですくう(卵は③の鍋に直接割り入れてもよい)
- ③浅鍋に玉ネギ、キャベツ、酒を入れてぴったりとふたをし、中火で沸騰させる。具がしんなりしたらベーコンとソーセージを加えてふたをし、火を通す
- ④カボスの汁としょうゆで味を調え、水気を切った②を乗せる

わたしたちが作りました



水沢区食生活改善推進員協議会の皆さん
忙しい朝に野菜をタッブリ取れるメニュー。ほかの野菜でもOK